



松陵健児

発行：2021年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：三浦洋 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



【写真左上】能代駅近くの公設市場(当時)駐車場より、2013年(平成25年)1月撮影。美しい白神山地が見える。
【写真右上】五能線・あきた白神-岩館間の小入川鉄橋を走るリゾートしらかみ・くまげら編成。海の向こうに男鹿半島が見える。2016年(平成28年)8月撮影。【写真下】高埜の能代高校前、アクロス横の田んぼより、2015年(平成27年)1月撮影。松山を背景にリゾートしらかみ・青池編成が走る。撮影/今野泰則(第49期)

令和3年度(2021年度)能代高校東京同窓会 総会・講演会・懇親会は開催を中止します

本年の能代高校東京同窓会の総会・講演会・懇親会は10月に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染の状況と皆様の安全を考慮し、昨年につき中止することになりました。本誌p6からの「会員だより」では、アンケート形式で募った近況報告を掲載しております。お楽しみいただければ幸いです。

同窓会活動の維持のために会費の納入をお願いします。納入方法についてはp12をご参照ください。

【年会費】2,000円

*世帯制割引：夫婦そろって同窓生の場合は一世帯2,000円

*新卒者特例(今年度は第91期)：1,000円

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com/>



求められる同窓会活動の工夫

東京同窓会会長 第45期 三浦 洋

日頃から会員および母校関係者の皆様には、ご支援およびご協力をいただきまして、誠に有難うございます。このコロナ禍の下で会の運営自体がどうなることかと心配した1年間でしたが、とにかく今年も会報を発行することができて安堵しています。



昨年この紙面で紹介した「無線部OB・OG」のオンライン懇親会(飲み会)は今でも毎週継続していますが、これをきっかけに、この1年間にインターネットで「Zoom」というアプリを使い「役員会」2回、「定例幹事会」4回、近況報告会を兼ねた「懇親会」2回をそれぞれ開催することで、幹事会の存続と可能な限りの範囲で会員同士の交流を図ってきました。最多の13人が出席した3回目の幹事会では、会議資料を画面で共有しながら活発な意見交換が行われました。世の中が正常に戻るまでは適宜Zoom等を利用して幹事会を維持していきたいと考えています。

さて、国勢調査の結果を報じた新聞記事によると、人口減少・少子高齢化に加えてコロナ禍による出生率の低下を加味すると、以前の想定よりも少子化が一段と進行するとの分析もあり、当会としても会員数の減少がますます進むことを覚悟しておかなければなりません。今後は単に「会員数の増加」を目標にするのではなく、会員を「減らさない」工夫と、「少人数で会を維持できる体制」を整えるなどの対策を講じない限り、数年後には健全な同窓会活動を維持することは難しくなると考えています。また、将来に向けて運営資金の確保を万全にしておくことが肝心だと思いますので、皆さんに納めていただいている年会費が会を維持する源であることを改めてご理解いただきますよう、お願いいたします。年会費の納入は常時受け付けていますので、未納の方がおりましたらよろしくお願ひします。

なお、今年度はトライアルとして、小規模ながら広く全同窓生を対象としたオンライン懇親会を計画していますので、今後はホームページ、Facebook、Twitter等から発する(予定の)情報にも注目していただければ幸いです。

悔しさをばねに

能代高等学校長 第50期 山田 浩充

東京同窓会の皆様には、常日頃より母校に対して深い愛情と心強いご支援、ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。



さて、昨年度は当初からコロナ禍により、学校においても多くの教育活動が中止や変更を余儀なくされました。今もなお、ワクチン接種が進められていますが先行きのよく見えない状況が続いています。そして世の中全体が受けている影響とダメージは計り知れません。

今年の3月に卒業した同窓生も新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。二度の臨時休業、総体などの各種大会の中止、コロナ禍が拡大する中で行われた新制度の大学入学共通テスト……全て未経験のことでした。運動部や文化部に所属していた生徒たちは最後の活躍の場を奪われ、競技人生に一区切りをつける者、その悔しさをばねに進路目標達成に大きく舵切りした者もいました。そして、悔しさをばねにした生徒たちは、進学・就職において大きな成果を残して、本校を巣立ってくれました。

そんな卒業生の中に芳賀研心(はが・けんしん)君がいます。芳賀君は2年生の秋から体操部主将として、インターハイ・国体での活躍を目指して部活動に励んでいましたが、その活躍の場をコロナ禍に奪われ、やり場のない悔しさに見舞われました。それでも高校総体の代替として、顧問が企画してくれた学校独自の演技会で気持ちに一区切りをつけ、大学受験に舵を切ったようです。小学校から始めた体操競技が自分を大きく成長させてくれたと実感した彼は、大学でも競技を続けようと覚悟を決めました。そして、将来は指導者になりたいと考え、体操の名門である筑波大学への進学を目指し、一般受験で見事合格を勝ち取りました。偶然にも、1964年の東京オリンピックで選手団長を務めた小野喬氏(本校の同窓生で体操部の大先輩)と同じ進路を歩んでいることに興奮したそうです。

おそらく、大学での競技生活は競争が激しく大変かと思われそうですが、将来の目標である「高校の体育教師」をぜひ目指してほしいと願っています。そし

て、このような松陵健児が今も本校にいることを、一教員としてとても頼もしく思っています。

結びになりますが、芳賀君のような生徒たちが、創立百周年に向けて新たな伝統と歴史を築いていけるよう、東京同窓会の皆様のなお一層のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、東京同窓会の益々のご発展と、皆様のご活躍を衷心よりご祈念申し上げます。

心にもワクチンが必要

能代高校同窓会副会長 第37期 柴田 寛彦

コロナ禍の中にあっても、東京同窓会の皆さまはご健勝でご活躍のことと思います。同窓生や在学生が感染したとの報告に接すると心配になりますが、能代では市中感染や重症者多発を心配する程ではなく経過しており、早期にワクチン接種が進むことを願っています。



私は昭和42年卒の37期生ですが、卒業20年、30年、40年と10年ごとに同期会を開いてきました。今から3年前の平成30年8月に古希祝を兼ねて卒業50年目の同期会を開催しました。会場は同期生の営むプラザ都、東京同窓会会員も含めて総勢36名の参加でした。恩師の先生方の代表として大山行夫先生にも

参加いただき、お互いに酒量は落ちたとはいえ、卒業以来50年ぶりに再会した旧友もいて、和やかに旧交を温めることができました。

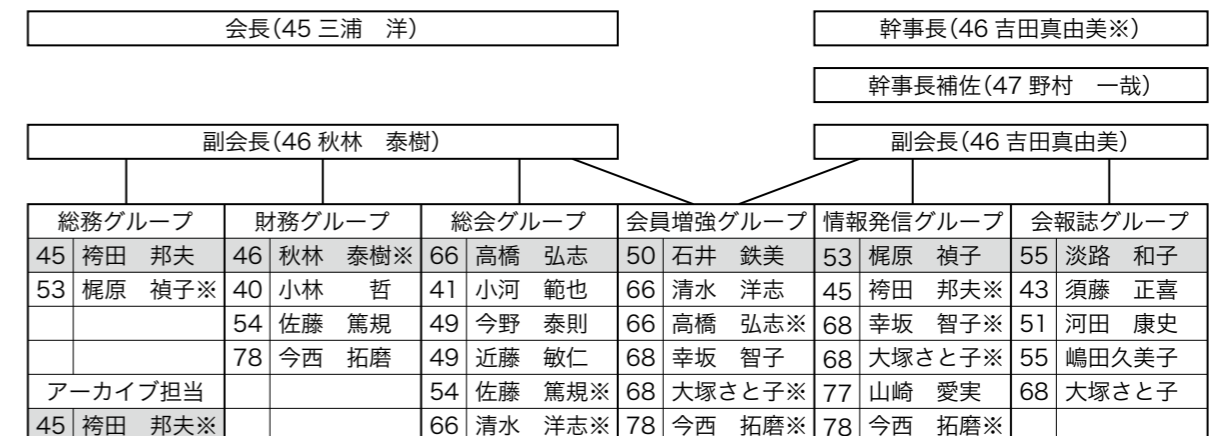
同窓会としては、今後とも母校発展のための支援活動や会員相互の親睦に活発に活動していくべきことは当然のことですが、長年能代に根を下ろして定点観測していると、少子高齢化や人口減少の影響を受けて大きく変化せざるを得ない母校の現状に胸を痛めざるをえません。母校活性化のために同窓会のなすべき役割があるはずだと思うのですが、「ドラゴン桜」のようにうまくいくすがそう簡単に見つかるわけではないと思います。が、同窓生の熱意を母校に伝え活性化のエネルギーにする役割が組織としての同窓会にあるように思っています。

新型コロナは心にも感染するらしく、感染した心によって社会不安や混乱が増長されているようで、心にもワクチンが必要なようです。同様に、皆さまの母校能代高校での多感な青春時代の豊かな思い出と、それに培われたその後の人生の経験が、今の若き能代高校生の心のワクチンとしてとても有効だと思います。皆さまの熱き思いをワクチンにして母校に注入していただくことを願っています。



平成30年開催の第37期生同期会

能代高校東京同窓会 組織図(2021/6/13現在)



数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任

注：2021/6/13開催の幹事会にて承認

名譽顧問	26 八柳 昭義
顧問	25 畠 豊彦
顧問	39 菅原 涉
監査役	34 西川 廣正
監査役	44 庄内 俊憲

■他の各期幹事

【24期】山縣輝輔【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、田村敏雄、沼沢隆一【45期】大塚雄蔵、真崎裕【46期】石井喬【49期】片谷浩之、田村盛仁【51期】袴田亘【53期】吉田順【62期】大高忠勉【67期】小野立、滝田祐作

恩師に聞く

能代高校での運動部活動

飯坂 尚登 先生

同窓生(第47期)であり、平成6年(1994年)から10年(1998年)まで能代高校に在職された保健体育の飯坂尚登先生にご寄稿いただきました。



●樽子山から高埜へ

昭和49年(1974年)4月入学時の校舎は樽子山でした。木造校舎で教室の窓ガラスには、白く「能中」と書かれたものがあったのが印象的でした。

11月に高埜の新校舎に引っ越しました。一小、一中ともに学校火災で新校舎に移転していたので、つくづく新校舎移転に縁があるなと思いました。

当時は能代バイパスが無く、通学は自転車だと長崎から大内田を通して学校裏の神明社の横を通るルートで、雨や冬期間は五能線で東能代駅から歩くか、バスで煉瓦場から歩くという感じでした。そして冬の地吹雪。全く前が見えなくなって身体を斜めにしないと歩けない状況で2年間通学、3年生になって能代バイパスが開通してとても楽になりました。

●部活動に明け暮れた高校生活

小学校3年から体操部に入部し、中学校でも体操部に入っていました。体育館が使えない時は、能代高校に練習に行ったりしていましたが、高校では体操部に入らず高校生活を謳歌しようと考えていました。授業が終わればすぐに帰って友達と遊ぶという生活をしていたら、顧問の中村栄喜先生に呼ばれました。入部を勧められたら勉強を理由に断ろうと思っていたら、「中学校まで体操をやっているなら最低の言い訳だ」と言われ、何も言えなくなった私は断ることもできず、「やります」と言ってしまう。練習は、今考えたらよくやったなと思うくらいきつかったのですが、なんとか2年生からインターハイと国体に出場することができ、大学でも続けることができたのは、厳しい練習のお

かげだと思っています。今年の国体は三重県で開催されます。2年生の時に初めて出場した国体が三重国体で、一巡したのだと思うと感慨深いものがあります。

●母校に赴任、軟式野球部の監督

平成6年に赴任しました。卒業してから14年、能代高校の生徒は松陵健児の伝統をしっかりと受け継いでいると感じました。部活動は軟式野球部の監督になりました。軟式野球部は全国優勝もしている強豪ですから、野球指導の経験が無い私とはとても不安になりましたが、部員達が暖かく迎えてくれ、先輩がやり遂げた全国優勝を目標にしようと決め、冬期間のトレーニングを徹底的にやりました。部員達は、きついといいながらも、むしろ目標に向かう努力を楽しんでいるかのように見えたものです。平成7年の奥羽大会決勝は対戦相手が本荘高校と県勢同士の戦いになりました。前年から一度も勝ったことのない相手でしたが、勝利することができ、全国大会出場が決まりました。

●全国高校軟式野球選手権大会

平成7年は阪神淡路大震災があり、会場の明石市も大きな被害を受けましたが、全国の軟式球児のために例年通り大会を開催してくれました。球場の中は35℃以上という灼熱の中、1回戦の大阪代表の布施高校を破ると、波に乗って決勝戦まで勝ち上がりました。結果は準優勝でしたが、選手達のおかげで素晴らしい経験をすることができました。後輩達も次は自分達だと常に全国優勝を意識してグラウンドに立つようになりまし、合宿や遠征中でも勉強はしっかりと、文武両道を目指すという能代高校らしい伝統を引き継いでいってくれました。

●おわりに

能代高校から秋田県教育委員会に異動になり、その後文部科学省、県庁と行政での仕事のみで学校には赴任できませんでした。現在は公益財団法人秋田県スポーツ協会に勤務しています。スポーツでの母校の話題が少なく寂しさを感じていますが、引き続き同窓生の皆さんと一緒に応援したいと思います。

同窓生の皆さん、今はコロナ禍で大変な状況ですが、健康に留意され、能代に帰省の際は声をかけてくだされば幸いです。

能高生だより

～新たなる時代へ向けて、奮え！松陵健児～

3年 佐藤 夏鈴

私は3歳の頃に始めた空手を続け、今年で15年目となりました。「能代高校空手道部女子主将」という責任ある立場を経験し、今、空手人生の集大成を迎えようとしています。昨年度は山形県天童市で開催された東北大会で準優勝し、全国選抜という大舞台も経験しました。今年も昨年に続き、新型コロナウイルスの影響はあったものの、幸いにも県北総体、全県総体に出場することができ、念願のインターハイ、ミニ国体の出場権を獲得することができました。この大会は私自身がずっと目標としてきたものであると同時に、部員全員で目指してきたものでもあります。日々応援し、支えてくれた家族やコーチ、活躍を側で見守ってくださった先生方や友達、時に衝突しながらも切磋琢磨しあってきた仲間の思いを力にかけて、悔いの残らないよう、自分史上最高の演技をしてきたいと思います。

また、今年のもう一つ、大きな経験をしました。2020東京オリンピック聖火リレーのランナーとして地元能代を走ったことです。私は東町のバス停から市民プラザまでの約200メートルを走りました。コロナ渦ではありましたが、沿道には大勢の地元の方々や園児たちがいて、小学校の窓からも多くの子どもたちが声援を送ってくれました。私が走っている姿を見て、一人でも多くの人に笑顔になってもらいたいという思いで走りました。また、私の幼稚園の時の先生も見に来てくださっていて、成長した姿も見せることができたのではないかと思います。

そしてこれからは、受験という人生の分岐点を迎えます。これまでの貴重な経験を活かしてこの先待ち構えているであろう困難にもめげずに立ち向かっていきたいです。



3年 春日 明大

私が住む能代市は、東京大学生産技術研究所と全国5市区町が設立した科学自然都市協創連合の一員です。私は、その設立記念事業として始まった『大漁旗プロジェクト』に、能代市の大漁旗のデザイナーとして参加しました。最初は、能代市の各高校の生徒が集まり、SDGsをヒントにこれからの能代市の展望について話し合うワークショップを行いました。そこでは、将来の能代市のまちづくりにおいて、「エネルギー」や「風の松原の自然」を大切にしたいと考えている高校生が多いことが分かりました。そこで、大漁旗はそれらが分かりやすく伝わるデザインにしようと考えました。

大漁旗の作成は、私を含んで3人のメンバーで行いました。製作期間は3ヶ月ほどでした。最終的にはスッキリとしたデザインに完結しましたが、最後のデザインに落ち着くまでにはかなりの試行錯誤がありました。背景の夕景からねぎロケット、風力発電機に至るまで、何枚もデモを作っては変えてを繰り返しました。まるで何かの商品開発をしているかのような体験でした。こうして、様々な趣向を凝らした大漁旗ですが、一番の見どころは「のしろ」の「の」を能代の夏の風物詩である高さ日本一の灯籠「能代七夕『天空の不夜城』」のシャチを模して表現したところです。これは、製作開始当初から貫いてきたデザインでした。

今の時代は何かと暗いですがこの旗には、能代の魅力を再発信してまちづくりの一端を支える存在になってほしいです。そして、能代の未来が大漁旗に描かれた天の川のように明るく開けてほしいです。同時に、自身の未来も開けるように精進していこうと思います。



写真左側が春日さん

会員だより

新型コロナウイルス感染拡大のため、2020年と2021年の能代高校東京同窓会総会・懇親会は中止となりました。そこで紙上で交流をはかりたいと願い、会員の皆さまにホームページ、Facebook、メールなどを通じて募集し、アンケート形式で近況を寄せていただきました。

【質問事項】

①昨年(2020年)からのコロナ禍をどのように過ごしていますか？

②今後やってみたいこと、計画していることなど教えてください

③能代高校への思い、故郷へのメッセージなど、どうぞ！

(回答のあった項目だけ掲載しています。回答者には首都圏在住者以外も含まれます。)

宮腰興紀(29期) ①自宅勤務の者としては仕事上で大きく変わることはありません。変わったところとしては客先訪問や接待などの飲み食いの機会が失われたことです。②毎年、能代へ旅行していたのができなかったのが、ワクチン打ちが2度完了したら能代に行き、仕事、ゴルフ、外食、飲み歩き等で3週間程度楽しく過ごすつもりです。③毎年能代っ子を元気づけている花火大会、天空の不夜城や役七夕が例年のように開催されず皆気落ちしていると思われるので、希望に満ちた明るい明日が来ない事は無いと前向きに考えて元気で過ごしてほしいと願っています。

干場革治(35期) ①コロナで活動量は衰えるも時に広島、沖縄までも出張、営業顧問業に励む。週末は隔週でゴルフ、鴨川で土日それぞれ2~3時間海辺をサイクリング、今冬は越後湯沢で17回スキーを楽しむ。②越後湯沢の温泉街にマンションを買い、湯沢高原スキー場の5キロのダウンヒルを満喫、緑の山道もサイクリングしたい。孫達との海外旅行も再開、新規起業もしたい。③教科書をなぞるだけの授業はつまらなかったもので、勝手に分厚い受験参考書、注釈付きの英文や

古文を勉強、国語の高橋彰三先生や、数学の畠山先生が真剣に質問に答えてくれた。東大に入る後輩がいて、渋谷や本郷で一緒に酒を飲めると嬉しい！

小林哲(40期) ①年4~5回出席していた国際会議及び関連する国内打合せが全てオンライン開催になり、慣れました。②10年以上にわたってワイヤレス電力伝送の国際制度化に取り組んでいますが、後継者育成が課題です。③能代高校無線部の後輩の活躍と、大規模洋上風力発電による脱炭素化と能代の活性化に期待しています。

加藤正人(42期) ①脚本家なので、コロナの影響は直接受けておりません。しかし、劇場が制限されて興行成績が落ちているので、これから厳しくなると思います。②能代を舞台にしたオリジナルの時代劇を執筆中です。映画化されるかどうかは分かりませんが、いい脚本にしたいと思っています。③能代高校の皆さんには、学業だけでなく、スポーツや文化でも活躍していただきたいと願っております。

白木仁(43期) ①テレワークできない職業なので、平日はマスクして電車通勤しています。趣味の里山ウォーキング、山歩きには全く影響無く、密も無いのでマスクも不要で、何一つ変化無く過ごしています。②ウォーキングイベント「日本スリーデーマーチ」への参加を楽しみにしています。台風、コロナ禍で2年連続中止になりましたが、今年は規模を限定しての開催となり一安心です。今年も3日連続毎日50km完歩を目指します。③能代高校は統廃合無くそのまま残って欲しい。ふるさととは、少子高齢化/人口減少で大変だと思いますが、なんとか昔の賑わいを取り戻す方法はないものかと。

須藤正喜(43期) ①昨年3月退職。新聞・ネットニュース精読、MLB観戦、家事、ウォーキング&柔軟体操(2時間)、読書と日々平穏。②残り51座ある百名山一東北・北海道・九州一登頂。四国八十八か所の歩き遍路、MLB大谷・ダルビッシュ現地観戦等。③過疎化が顕著な能代・山本

地区では、洋上風力発電の巨大計画が進行中。経済発展対環境保全、難問だが、住民の幸福を祈る。

庄内俊憲(44期) ①自分の時間がたくさんできたのに帰省困難に。まる1年以上帰省しないことは18歳からこれまで40数年間ありませんでした。②夏は八森の海で泳ぐのが当然！手遅れかもしれない親孝行と白神岳トレッキング。③在学中は五能線で登下校するだけ？だった。同窓会活動でかなり思い出が追加できました。能代高校の卒業生であるという意識は保ち続けてきたつもりです。

渡辺隆幸(44期) ①姿勢ただしく生きることをモットーに暮らしております。Facebookに近況を載せておりますので、よろしければどうぞ。

井上清起(45期) ①第一波は在宅中心。その後は仕事場の医療関連は行動制限はあるものの普段と同じ仕事をしておりました。②6月末で退職。思いっきり外で日本酒を飲み歩きたい。新潟の酒検定試験でも挑戦しようかなと思っている。③学校推薦で大学を紹介していただき、ありがたいと思っている。自然豊かな能代は食文化が最高。

港基樹(45期) ①週1程度在宅ワーク+休みをとって、残りは出社しています。会社関係者でも感染者がおりますので、仕事柄その対応等もあるほか飲みにも行けなかったりで、自宅と会社の往復が続きストレスが溜まって少々コロナ疲れ気味です。②リタイヤしたら、のんびり日本全国を旅したいと思っています。また、沖縄での生活も考えていますが、このご時世で下見にも行けない状況です。③最近、硬式野球部が低迷気味なのが少し寂しいところです。出来れば、甲子園に応援に行きたいと思っていますので、奮起を期待したいと思います。

小杉山乙矢(45期) ①ほとんどの仕事をオンラインで対応するようになりました。また、増えた自由な時間を筋トレとテニスで過ごしています。②70歳まで仕事を続けたいです。そうなるように適度に勉強・健康・休養！③TVで「能代」が

紹介されると思わず見入ってしまう。ただただ懐かしいです！

鎌田泰宏(45期) ①退職後ぶらぶらしていましたが、昨年はコロナ関連の融資の仕事を、今年もコロナ関連の補助金の仕事をしています。②大好きな京都、奈良への旅行です。③能代山本の商店、会社を応援したい。例えば、首都圏での展示会や販路拡大をボランティアでお手伝いします。

三浦洋(45期) ①週1、2回の在宅勤務時に最低限の運動として数キロ歩くことを日課にし、3キロ減量、健康維持に努めています。②リタイア後の楽しみにとってあるアマチュア無線を楽しむために屋根上にアンテナを設置する予定。③在校生の文武にわたる活躍ぶりを知るたびに、いつも心の中で「奮へ松陵健児」とエールを送っています。

秋林泰樹(46期) ①縁あって3番目の会社(八王子)に通っています。圏央道経由、片道60キロの自転車通勤を週5日しています。②YouTubeに動画を投稿したいと思っています。すでにVLOGCAM(SONY)を購入したのですが……。③自分たち46期(1976年卒)はあと5年で卒業半世紀。東京同窓会の懇親会で同期会をするのが夢です。

吉田真由美(46期) ①仕事が完全リモートワークになり、通勤ストレスから解放されたのはよかったけれど今度は運動不足が心配に。②コンサートやライブ、歌舞伎、文楽など、生の舞台を心置きなく楽しみたい。東京探訪の会も再開したいです。③故郷のお祭りは心の拠り所。能代の七夕もコロナ禍を乗り越えて未来につながることを願っています。

野村一哉(47期) ①仕事は物を前にしないといけない業種なのでコロナ禍前とそれほど変わっていませんが、他社との打ち合わせ等は流石にWEB会議です。休日に出かけるのは生活必需品の買い物がほとんどです。②コロナ禍に入った

ばかりの昨年3月に母を亡くしました、四十九日も納骨も行けなかったのが、コロナ禍が過ぎたら墓参したいです。③旧市街地の活性化のため北高跡地への移転の要望があることを聞くと、今の高塙の校舎へ移転したときの1年生ですので感慨深いです。

小林金雄(48期) ①東京から秋田市に転勤してきた高校の同期生と、初めてオンライン飲み会を経験しました。普通の飲み会よりハガいぎました。飲みすぎました(*_*) ②コロナが終息したら、高校の同級生(眼科医)が行っているアイキャンプ(ネパール)に同行し、ボランティアをする予定です。③今秋、自宅近くにイオンショッピングセンターがオープンします。高速(能代東)ICのすぐそば。能代も少し賑やかになりそうです。

野村松信(48期) ①懇親会が無くなり、家呑みが増え、また田舎へ戻る機会も増え、少し運動するように。お陰様で少し体重が減りました。②夢です。海外には日本文化に興味がある若者が多いように思います。田舎に日本語教室等を開設し、沢山の海外の青少年と交流したい。③校訓「至誠力行」を忘れず、日本全国・全世界から故郷能代を応援する人材に、また故郷能代で活躍する人材に!

近藤敏仁(49期) ①例年参加していたマラソン大会、トライアスロン大会は軒並み中止になりました。Stay Homeの週末は、もう一つの趣味である園芸に注力し、洋蘭を100鉢ほど収集して楽しんでいます。②コロナが終息したら、すぐにランニングお遍路を再開します。現在、38番札所金剛福寺を過ぎて宿毛まで。まだまだ先は長いです。③楽しみにしていた還暦記念同窓会も実施できずにあります。皆様との再会を楽しみにしております。

佐藤孝也(50期) ①ほぼテレワークの中、昨年8月から始めた登山とケーキ作りが新たな趣味に加わり充実した日々を過ごしております。②登山は栃木県内の山を中心に活動していますが、他県の標高の高い山や冬山にもチャレンジしてみた

と思います。③延期となってしまった能代の還暦同期会で皆さんにお会いできることを楽しみにしております。

河田康史(51期) ①怒り。東京五輪だけは特別視され、不要不急の五輪が「すべてに優先されている事実」は記録しておきたい。②旅、食、文化を楽しむ。まず京都(錦市場と広隆寺)、金沢(松葉ガニと泉鏡花)、そして英国(アイラにピートルズ)…。③



季刊「筏(いかだ)」2号と0号

実家片付けでホテルを利用しているが減少続き、いつまで市内泊できるか不安だ。ミニコミ誌「筏」時代が懐かしい。

袴田 亘(51期) ①政府の指示に従い、不要不急の外出はせず、ひたすら家にこもっています。10万円の給付金で購入した日本酒専用冷蔵庫に日本酒を数本常備し、今日は「能代」、明日は「獺祭」、明後日は「百光」と日本酒生活を満喫しています。その成果は体型に反映され、ポッコリお〇かになりました。②来年還暦を迎えるにあたり、断捨離実行中で、こだわって持っていたものを売ったり、捨てたりして大分すっきりしてきました。自分の贅肉も断捨離したいです。③ふるさとは遠きにありて思うもの。そして時々帰ることになっていましたが、しばらく帰ることができず、寂しい思いをしています。止まない雨はないと言いますので、辛抱して帰れる日が来るのを待ちます。能代の友達と一杯でなくいっぱい(てっぺ)飲みたいです。

梶原禎子(53期) ①とにかく三密徹底回避、手洗いと消毒、体力キープ、、、なんか人間ってこんな状況にもけっこう慣れるものですね(笑)。②心に余裕が出来たら考えてみます(汗)。でもとにかく職場以外の人とずっと会っていないので、やっぱり友達に会いたいかな。③コロナ禍によって故郷の温かさと冷たさの両方を知りました、、、が、故郷に対する愛情は変わりません!!(笑)

吉田 順(53期) ①両眼の緑内障の手術をした結果、右眼が見えなくなりました。何か見るのも読むのもおっくうになってしまい、寝てばかりいます。②コロナが収束したらまずは飲み会です。会って話したい人はいっぱいいます。それから今度は白内障の手術をして、見えてる左眼を強化したいです。能代にしばらく帰ってないので顔を出したいですね。③空地ばかり増える能代。そこに充電場を作り、電気自動車が走りまわるエコシティになった能代を早く見たいです。能代高校から中央大学に入学した長距離選手が箱根で優勝する姿が見たいです。

伊藤広一(55期) ①居住地・千葉市は緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が継続。リモートワークができない製造業のため会社と自宅の往復の日々です。海外出張できませんが、欧州・北米とのWEB会議により国内で時差ボケ状態です。②会社で5年ぶりに大型投資実施したこともあり、事業拡大が最大命題。個人ではローンの資格でも取得し、将来のビジネスにしてみたいと思っています。③能代を離れ31年。身内も居ないので帰省することも無かったですが、仕事で偶然にも先方が先輩・後輩というケースもあり、ご縁を感じています。産業を発展させ、希望のある故郷であってほしいと願っています。

ニューヨークだより

第46期 大塚 晃

2018年から仕事の関係でニューヨークに住んでおり、感じたことを紹介します。

食については日本の圧勝。ニューヨークの高級フレンチ、アメリカンはカウンターや厨房が見える席でシェフの作業を見ながら複数の小皿をいただくスタイル、まさにお寿司屋さん和懐石の融合。パンの上に北海道のウニとどっかのキャビアを乗せましたとか鹿児島産和牛ですとか半分程度が日本の食材で、和食のレベルの高さを再認識。

仕事の進め方はアメリカが本質重視。重箱の隅をつつくようなことはしない、というか繊細なことに気づく能力なし。事前の根回しなど見たことなし。漢字、ひらがな、カタカナ、英数字を半角、変換キーでたたく必要なし、「わびさび」なしの26個の単純文字ワールドの世界。日本がグラデーションカラーならこちらはグレイなしの白黒。

コロナ対策は、2021年6月現在はアメリカの圧勝。政府が数兆円の開発費を23種類のワクチンにぶち込み、正式認可を受ける前からフライングゲットで州が即大人買い。住民票はなく役所から連絡など来ない、自分で予約し医師以外の有資格者に打ってもらう。平等とか言っている人はいないし、いても無視、ひたすら集団免疫を達成するのみ。納税番号と銀行口座がリンクしていて給付金は速攻で口座にイン、金無くなったらアジ

ア某国へ国債売ればいいんじゃないか言っていないと思うが、多少の間違いはあってもとにかくスピード。レストランは時間やお酒管理ではなく、間隔か人数制限、仕切り板、後は寒かろうが外でどうぞ。この冬は氷点下の中Tシャツでビールを飲んでいるマッチョ系アメリカ人多数。日本の駐在員は彼らのことを「ミートテック」と呼ぶ。そして現在の街は、俺たちまた勝ったぜと戦勝国気分酔いしれている。

ということで、衣食住(特に性能のいい家電製品)、街の清潔さ、医療制度、銃なし治安、歴史文化は日本の圧勝。政治、経済、軍事、スポーツ芸術、学術教育分野、危機管理はアメリカの圧勝。資源莫大、イノベーション活発、GDP1位の国は前大統領以外口にこそ出さないが100年以上アメリカ・ファースト。世界3位の日本も危機が起きたら独自で素早く解決するしかなくそのためにどうするのか。

最後に、能高東京同窓会の皆様、卒業生の皆様のご活躍をニューヨークから祈念しております。



今年6月、コロナ禍以前に戻り多数の人が食事を楽しむマンハッタンのカフェ

大高忠勉 (62期) ①テレワークを有意義に効率良く仕事出来ています！家族と夕飯を食べる機会も増え、子供ともアニメの会話などで盛り上がっていますよ～。IT業界でテレワーク環境は完璧です。IT業界に興味ある生徒は声かけてくださいね～！ ②国内でも良いので、家族旅行がしたい。 ③母校の活躍がニュースで流れると凄く嬉しい。能代高校生徒諸君の活躍を祈念します。

高橋弘志 (66期) ①基本ステイホーム。運動不足解消で毎朝ランニングしています(300km/月)。 ②コロナが落ち着いたら、五日会で盛大なBBQを開催したいです。 ③今は地元が遠くなっていますが、いつか気兼ねなく地元に戻省できること、また同窓生と交流できる日を期待しています。

清水洋志 (66期) ①外出することが極端に減りました。元々家が好きな質でそのこと自体は悪くないのですが、仕事面では売上減が深刻な状況でした。 ②まず業績を回復させて生き延びること

に精一杯で、それ以外のことは今はあまり考えられません。 ③卒業から25年がたち、市内で当時の高校名が残っているのも能代高校だけになりました。時代の流れとは思いつつも、学校名は残っててもらいたいと、個人的には思います。

滝田祐作 (67期) ③去年から前向きになれないニュースが続いていて、気も滅入り、塞ぎがちになった時もありましたが、そんな時は、是非ふるさとの家族や友達とたくさん連絡をとって下さい。私はコロナ禍で心の支えになったのは同郷のつながりでした。まだ連絡してない方は今すぐ電話してみてください。本当におすすめです。会員の皆様、来年こそは笑顔でお会いしましょう。お会いできる日を楽しみにしています。

清水彩香 (89期) ①家で、ドラマを見るなどの趣味を満喫したり、家族とビデオ通話しています。 ②大学3年生になり、就活を頑張りたいと思っています。 ③能代高校の皆さんの活躍を楽しみにしています。

サイドGC(千葉)で開催予定。参加希望の方はお問い合わせください。フェイスブックのグループもあります。

代表者：石井鉄美(第50期)

◇能高釣クラブ

活動内容：自然を満喫しながら溪流釣を楽しみ、昼はバーベキュー、夕方は温泉で疲れを癒します。代表者：小河範也(第41期)

◇東京探訪の会

活動内容：年2回(予定)、日常あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。東京同窓会ブログに報告を掲載。次回の開催はメールでお知らせします。代表者：吉田真由美(第46期)

◇能高バスケの会

活動内容：能代カップやウインターカップ、Bリーグ観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流などによる情報交換をしています。東京同窓会ホームページに報告を掲載しています。代表者：片谷浩之(第49期)

令和3(2021)年度会費納入者(2020年8月以降に会費納入があった方)

【24期】山縣輝輔(二中)、今村宏司(一中)、豊田誠(鹿渡) 【25期】畠豊彦(一中)、栗原俊一(一中)、工藤尊久(鹿渡)、町田次男(鹿渡)、那須秋男(一中) 【26期】佐々木高博(二中)、畠山信孝(鶴川) 【27期】大村真陸郎(浜口)、檜森寛(鶴川)、斎藤秀夫(藤琴)、栗原優子(二中、旧姓泊川)、石嶋喜直(岩館)、山田邦夫(荷上場) 【28期】須田正巳(二中) 【29期】赤塚鉄男(東雲)、嶋田雄右(二中)、宮腰興紀(一中) 【30期】熊谷幸夫(一中) 【31期】馬場富男(二中、旧姓工藤)、小田幸雄(二中、宮城県から)、熊谷博雄(二中) 【32期】高谷誠(深浦)、田中正敏(鯉川)、杉江昭宏(一中)、吉岡良隆(響) 【33期】金田英成(一中)、堀内忠人(岩崎)、清水靖子(八森)、小林勝平(一中、能代から) 【34期】畠山昇(浜口)、斎藤彰悟(一中)、棚橋東峰(一中) 【35期】金谷満郎(浅内)、横田真理子(一中、旧姓腰山)、干場革治(八森)、川添能夫(一中) 【36期】深井学(東雲) 【37期】若狭秀巳(森岳)、加賀咲男(一中)、今野廣隆(浅内)、坂田静子(藤里、旧姓石岡) 【38期】佐藤能雅(東雲)、菊地忠美(東雲)、赤塚剛(一中)、戸松伸一(一中)、荒川久敏(二中)、福田満男(一中)、大塚健三(浅内、愛知県から)、佐藤則男(一中)、松谷康雄(一中)、市川正敏(二中、旧姓北島)、能登洋一(二中)、金谷昇(一中)、袴田忠夫(二中) 【39期】菅原渉(下岩川)、大塚進(二中)、田村敏雄(一中)、直嶋博明(東雲)、持田訓(一中)、金谷もと(一中、旧姓大原)、金野峻明(一中) 【40期】小林哲(東能代)、智田農(富根)、小松文明(一中)、増田春樹(八森)、北川雅夫(塙川) 【41期】成田忠幸(響)、田中亨(響)、金子裕二(浜口) 【42期】佐藤行信(二中) 【43期】菊池忠夫(藤里)、高橋敦子(東能代、旧姓渡辺)、須藤正喜(八森)、五代儀彦秀(鷹巣)、幸坂和彦(常盤)、福岡武(二ツ井)、石塚信一(一中) 【44期】庄内俊憲(八森)、森岡雅信(二中)、渡辺隆幸(琴丘)、宮城伸一郎(一中) 【45期】袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、河田昌俊(一中)、能上慎也(一中)、嶋田清人(一中、山梨県から)、高松武史(金岡)、大塚雄蔵(二中)、相澤正和(一中、静岡県から)、原田康男(浅内)、奈良博文(八森)、鎌田泰宏(二中)、井上清起(一中)、平野信任(一中)、港基樹(常盤) 【46期】吉田真由美(一中、旧姓工藤)、大山望(二中)、平川尚(一中)、斎藤靖雄(沢目)、佐藤康准(一中)、秋林泰樹(二ツ井)、清水文彦(一中、福島県から)、石井喬(二中)、鷲谷太郎(一中) 【47期】野村一哉(二中)、越中谷真喜(一中)、小林典雄(二中)、大久保昭佳(一中)、大槻務(東能代) 【48期】藤田幹也(二中)、野村松信(檜山、秋田から)、小林金雄(東能代、秋田から)、北林蒔子(一中、山形県から)、小嶋覚(二ツ井)、淡路正則(一中)、吉田和義(二ツ井) 【49期】片谷浩之(二中)、大塚聡子(一中、旧姓佐藤)、鎌田健二(一中)、佐藤互(二中) 【50期】石井鉄美(一中)、佐藤孝也(一中)、村井清蔵(一中) 【51期】袴田亘(二中)、村田祐子(二中、旧姓山内)、平塚征悦(東雲)、平塚佐智子(東能代、旧姓浅野)、鶴谷則子(東雲、旧姓佐々木)、川口行彦(二中) 【52期】井瀧正彦(二中) 【53期】吉田順(一中)、堀内博司(一中)、櫻田亨(山本) 【54期】遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)、佐藤周之(一中)、佐藤篤規(二中)、佐藤弘孝(八竜、2口納入) 【55期】淡路和子(一中)、浅野敦志(東能代)、伊藤広一(二中)、大山頭(二ツ井) 【59期】畠山真吾(山本) 【62期】大高忠勉(峰浜) 【66期】高橋弘志(二ツ井)、畠山幸(田代) 【67期】小野立(一中、能代から)

●年会費世帯制の適用者4組は2名の名前を掲載しました。 ●カッコ内の出身中学校名は卒業当時の校名。
※このページは敬称を略しました。

東京同窓会の同好会

東京同窓会には、同窓生の親睦のために以下の同好会があります。これらの会に連絡を取りたい人、新たな同好会の提案や希望がある人はご連絡ください。

事務局メールアドレス：NoshiroHTR@gmail.com

◇能高五日会

活動内容：2006年1月5日に設立した同窓生の青年部で、若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会。次回の開催はメール、フェイスブック、LINEでお知らせします。

代表者：清水洋志(第66期)

◇樽子山会

活動内容：樽子山を卒業した世代が各期を越えて参集し懇談します。元気な70歳代の楽しい寄集まり会にしたいと思います。会報や東京同窓会ブログに過去の開催レポートを掲載しています。

代表者：熊谷幸夫(第30期)

◇能球会

活動内容：年2～3回、東京近郊のコースでゴルフを楽しみます。次回は10月20日に東京ベイ

ふるさと自慢が過ぎる店
LPガス・酒・たばこ・じゅんさい鍋



TEL: 0185-83-3700
FAX: 0185-83-3701
山本郡三種町豊岡金田字豊岡198

(有)サンクラ
三蔵商店
第51期 三浦基英
http://sankura.com

湯島で同窓生に会える店



ふぐ・季節料理
上野 まくち

通算43期(新制25期) 菊池忠夫 白神山地(藤里町)出身

千代田線湯島駅6番出口
徒歩1分
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)
東京都台東区上野1-12-2
亀田ビル1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします
03-3839-3382

令和3年度(2021年度)収支決算報告書(2020年8月1日~2021年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	0	0	総会費	300,000	292,683
会費収入	420,000	292,000	組織拡張費	15,100	0
雑収入	38,150	41,009	一般管理費	143,050	30,916
当期収入合計	458,150	333,009	当期支出合計	458,150	323,599
			当期収支	0	9,410
			前年度繰越金	1,239,021	1,239,021
			翌年度繰越金	1,239,021	1,248,431

■同年度の収入には、次の同窓生からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。

【43期】菊池忠夫 【45期】三浦洋

★会報には簡易版を掲載しています。同封の資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

【会費納入のお願い】

◎会員の皆様から納めていただいている年会費は主に会報の発行と、幹事会や総会開催にかかる費用に充当されています。今後とも納入にご協力をお願いいたします。

●年会費は2,000円です。

以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(会報に同封した赤色の用紙を利用:同窓会が手数料を負担)

- ・日本郵便のATMを利用(手数料152円)
- ・日本郵便の窓口を利用(手数料203円)

②ゆうちょ銀行の《ゆうちょダイレクト》をご利用の方

インターネット経由で送金していただくと手数料は月5回まで無料です。振替払込の手数料分が同窓会の経費削減につながりますので、ご協力をお願いいたします。

なお、送金・振込時には名前の前に卒業期(通算)の数字を添えていただくと助かります。(例:45ミウラヒロシ)

③年会費振込先

(ア)郵便振替払込

口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

(イ)ゆうちょ銀行

〇一八(ゼロイチハチ)支店

口座番号 普通預金 5914261

加入者名義 能代高校東京同窓会

【会報はホームページでも公開中】

■東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページにて、PDFで公開しています。お手もとにない号は、トップページから「会報」の項を選んでご覧ください。まだ会報をご覧になったことがないお知り合いの同窓生にもお勧めいただけます。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com>



【メールアドレスとQRコード】

■東京同窓会事務局の専用メールアドレスはこちらです(東京同窓会ホームページからもリンクしています)。

NoshiroHTR@gmail.com

スマートフォン等をお使いの際はこちらのQRコードをご利用ください。





Web OPEN CAMPUS

家から気軽に参加! | いつでも過去動画が見られる!

9.19 SUN

詳細はこちら

世界初!

宇宙を汚さないクリーンな
ロケット推進薬の開発に成功

千葉工業大学 WEBでCHECK! | TEL.047-478-0222(入試広報部)
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY 〒275-0016 千葉県習志野市津田2-17-1




松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第31号

発行日 2021年9月1日

発行 能代高校東京同窓会

発行責任者 三浦洋

編集 会報誌グループ

印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

〒270-2212

千葉県松戸市五香南 1-16-11 三浦洋方

E-mail: NoshiroHTR@gmail.com

Website: <http://shoryokenji.web.fc2.com>

■年会費振込先

●郵便払込口座番号 00150-7-27459

加入者名 能代高校東京同窓会

●ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店

普通預金 5914261

名義 能代高校東京同窓会